

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月27日

事業所名 しいのみ学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	19	0	朝の会や、制作など静の活動をする時には十分だと思うが、動きがある時には狭く感じる	定員に対する設置基準に基づいているものの現園舎の老朽化は否めません。子どもの動線や物の配置等に留意していきます。
	2	職員の配置数は適切である	19	0	子どもの特性によって、人数を多くしている	職員配置等については今後も可能な限り努力し増員を図っていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	17	2	園庭とベランダの段差/棚や椅子にマークがあり、自分のものが分かりやすい。バリアフリーは特にない/階段がない所	現園舎は建築後40余年を経過しており今後建て替えを含む抜本的な対応が必要と考えています。今後計画的に進めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	18	1	子どもが来るまでに掃除をしたりしている	毎日、清潔で過ごしやすい環境作りに努めるとともに消毒作業の徹底を図ります。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	13	6	月案と共に日付を目標に計画している/毎日の振り返りは十分でない/職員会議等	P(計画)やD(実践)には、大きな力量を示していますが、C(評価)A(改善)の共通理解を得る機会をさらに充実していくことができるように努めていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	17	2		今後も、公表を行い改善に活用していきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	18	1		今後も、公表を行い改善に活用していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				現時点では実施の予定はありません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	16	3	事例をあげて子どものことについて考える研修もしてほしい。物作りの大切さも分かるが、子どもとの関わりも学びたい	今後も園内外において充実した多様な研修を設定していきます。
適切	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	18	1		今後も継続していきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	16	3	全クラス共通で使用しているツールはない	今後も必要に応じて標準化されたツールも活用していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	18	1		児童発達支援ガイドラインに関する共通理解をさらに深め、個別支援計画により深く反映できるように支援内容の整理に努めます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	18	1	子どもとの関係がとれていない	支援の実際に関する定例的な研修やミーティング等を継続し、児童支援に関する共通理解を深めていきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	13	6	クラスで話し合っ決めてはいない	児童発達支援管理責任者及びクラス主任を中心にクラスの職員間での共通理解を図ります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	6	運動会、学芸会前は、ほぼ練習のみになっている	個に応じた支援をもとに子供たちが多様な体験を行えるよう工夫していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	16	3	個別活動の機会はほとんどない	基本的にクラス集団での活動を柱に日々の実践を行っていますが支援のねらいはすべて個別化されており今後も継続していきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	18	1		職員の勤務形態にかかわらず全職員が確認しあうことのできる機会をさらに増やします。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	6	毎日ではない/気づいたことがあれば共有するが、毎日必ず集まっているわけではない	職員の勤務形態にかかわらず全職員が確認しあうことのできる機会を増やします。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	14	5	ミーティング録はあるが、毎日ではない/個人的に記録は取っていない	保護者への連絡を兼ねた活動記録(連絡帳)やクラスごとのミーティング記録を作成し支援につなげていきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	17	2		今後も保護者個人面談やクラス懇談等を定期的な見直しを継続します。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	18	1	分からない	今後も、児発管、相談支援専門員等により対応していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	17	2		今後も、市役所、区の保健福祉センター、福岡市事業団、基幹センター等との連携を行っていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	16	3		今後も、出身園等との情報交換を行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	18	1	話に来たりしている	今後も、クラス主任や児発管等により就学前の引き継ぎと共に就学後に各学校に伺って状況を確認していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	12	7		今後も児発管や相談支援員、園長を中心に連携していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7	12	他の園と交流する機会はない	状況に応じて交流の機会を増やしていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	0		今後も、園長・相談支援専門員を中心に参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	19	0	色んな保護者と話せたい	今後も日々の連絡帳や個別連絡、個人面談等の機会を通して共通理解に努めていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	14	5		今後も長事や排泄等の日常生活動作に関する研修会や家庭での支援、介助に関する相談を実施していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	18	1		入園説明会等の他、個別の問い合わせ等にも丁寧に対応していきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	17	2		今後も保護者とのクラス懇談や個別面談を中心に、「支援計画書」をもとに十分な懇話を重ねて説明と同意を得ていきます。
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	18	1		今後も保護者からの相談等に即時的に対応していきます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	16	3	月に一度保護者連絡会や、保護者参加行事などで保護者間の繋がりの機会があるように思う	保護者の負担を軽減するために学園の支援を具体化してアルバム作成等を行って保護者との連携・支援をしています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	19	0		今後も保護者からの相談等に即時的に対応していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	18	1	しいのみだよりにて	今後も毎月の会報等で発信していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	19	0	要らないものは、シュレッダー等	今後も個人情報の管理に十分に努めます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	18	1		相互に分かり合えるよう多様な場面や方法で意思の疎通を図っていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	11	8	特に招待はしていない	管先頭に十分に留意しながらより開かれたセンターとしての在り方を検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	18	1	防犯、感染症対策など訓練や研修が必要に感じる	すべての案件に対応したマニュアルを作成済みです。実態に即した訓練を今後も継続して行っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	19	0	避難訓練などで	子ども達の心理的安定を心掛けながら計画的に訓練を行っていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	18	1	職員間で話している	各家庭や移行前の施設等から情報をいただいております。今後も継続していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	18	1	気をつけている	入園時に詳細な情報を把握するとともに毎年、必要な事項の共通理解を図っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	9	クラス内では共有している/作成はしてないが、話をしている	今後も事故報告書を作成し情報共有を行っていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	19	0	園長より話	今後も毎月、職員研修・報告を行っていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	16	3		必要な事項については、契約時や年度当初の説明会をはじめ随時保護者と園で共通理解を深めていくように協議し記載をしています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。